

秋田県立湯沢高等学校（稲川分校）最終ビジョン

平成29年度版

本校が目指す姿（具体的な目標）

1 学校の現状や課題

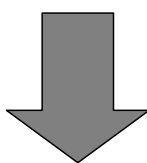
平成28年度は入学者が無く、平成29年度には新入生の募集が停止となり、現在の在籍生徒は3年生6名のみである。校舎は、昭和28年に建てられた旧稲庭中学校の木造校舎を活用しており、平成24年3月に教室棟の耐震補強工事を行うなど、教育環境の整備に努めている。美しい教育環境に恵まれており、6人の生徒たちは夏の暑さ、冬の寒さ、大量の雪の中でたくましく学校生活を送っている。少人数の特性を生かし、教職員は様々な形で生徒に寄り添い、個々の生徒の能力に応じた、きめ細かな工夫された指導を行っている。

2 学校を取り巻く将来の状況

平成28年度に入学者が無かったことから閉校の予定が1年前倒しとなり、平成30年3月をもって本校は閉校となる。この最後の1年間も地域に愛され、保護者や同窓生の支援を受けながら、地域に必要とされる、魅力ある学校づくりに引き続き取り組んでいる。

3 目指す方向性や学校像

自ら学び自ら考える力、「人間力」「生きる力」の育成



学 校 目 標

- (1) 学力の向上及びスポーツの活性化を目指し、目標に向かって努力するたくましい心と実践力を持った人材の育成に努める。
- (2) 学校の全教育活動を通じてキャリア発達を支援し、生徒の適性と将来を見通した進路の実現に努める。
- (3) 地域及びPTAと連携した体験活動等を通して、ふるさとを愛する心豊かな人間性を育むとともに、今年度末で閉校となる「稲川分校」を、様々な形で発信する。

具体的な目標と取組

- 1 豊かな人間性を育み、安心して高校生活を送れる安全な学校環境を作る。
 - (1) 自分と他人の生命を尊重し、思いやりのある言動をとれる生徒を育てる。
 - (2) 「いじめ」などのない学校にするため、教職員、生徒、保護者が協力する。
 - (3) 防災意識を高め、交通事故、学校事故の未然防止に努める。

- 2 自主性を伸ばす活動を支援する。
 - (1) 部活動、学校行事、ホームルーム活動などの校内活動を支援する。
 - (2) ふるさとを愛し、異文化を理解する心を育て、保護者、同窓生、地域と連携し、ボランティア活動や校外活動を支援する。

- 3 高い志をもって進路目標を達成するための援助を行う。
 - (1) 個々の進路目標と学力実態を把握し、目標達成のために指導法の工夫と改善に取り組む。
 - (2) 基礎学力の確実な定着と行動を図り、「深い学び」を追求して意欲的に学ぶ集団を形成する。
 - (3) 生涯にわたり学習を続ける意欲をもち、充実した人生を送れるように、適切なキャリア教育を行う。

- 4 自律した活力にあふれる学校生活を確立させるために、特に次の4点の指導を徹底する。
 - (1) 思いやりの心
 - (2) 爽やかなあいさつ
 - (3) 時間の厳守
 - (4) 整理整頓